

生活を支える豊川

とよがわ

大切な水を守るために

豊川の恩恵

私たちの暮らす東三河は、古くから豊川の恵みを受けてきました。

豊川の水は、日常生活やレジャー、また全国トップクラスの産出額を誇る豊橋市・田原市の農業や自動車産業を始めとした東三河や静岡県湖西市の工業など、この地域一帯の暮らしを支えてきました。

このように、豊川は地域社会のさまざまな場面で私たちに潤いと安心感を与えてくれる大切な存在です。

水不足に対する不安

しかし、東三河は昔から水不足で悩んできた地域でもあります。

豊川は流域面積が狭く、川の長さも短いため、雨が降っても短時間で海に流れてしまいます。そのため、東三河は降った雨を安定的に確保するのが難しい地域です。

幸い近年では、大きな渇水は起きていませんが、それでもここ数年、夏の豊川用水の貯水率は平年より低い状況が多く、渇水への不安は尽きません。



渇水時の宇連ダム(平成25年)

水源林を守る取り組み

こうした渇水を防ぐためには、水を蓄える奥三河の森林が健全に機能していることが必要です。

市では、水源林を保全するために、水道料金の一部(トンにつき1円相当額)を原資に、「公財」豊川水源基金が行っている「水源林保全流域協働事業」を支援しています。

この事業では、間伐や植樹を通して森林の新陳代謝を図ることで、水源かん養機能(森林の土壌が雨水を蓄えることにより、川の流量を安定させ、洪水を緩和する機能)の向上に取り組んでいます。

また、間伐した木材についても、三河材として多くの建物に利用されています。



間伐のようす

水は大切な資源

私たちの暮らしに欠かせない「豊川」の水は、大自然からの大いなる恵みです。かけがえない命の水を、子どもたちの未来につなぐためにも、この限りある資源を大切に使いましょう。



三河材を使用した建物(豊鉄渥美線新豊橋駅)

問い合わせ 政策企画課(☎51・3153)

シリーズ ゴミのあれこれ

平成29年4月から

「生ごみ分別収集」を始めます!

問い合わせ: 環境政策課 (☎51・2417)

9月から地域説明会が始まります

平成29年度から、生ごみ分別やびん・カンのごみステーションでの収集が始まり、ごみの収集日程が変わります。そのため、9月から自治会などの団体を中心に地域説明会を開催し、新たなごみ出しルールについて詳しく説明していきますので、ぜひご参加ください。

また、老人クラブや女性会など、自治会以外の各種団体でも申し込むことができます。希望する団体は、ご相談ください。

さまざまなお知らせがあります

豊鉄渥美線や市電、路線バスの車内吊り広告など、今後もさまざまな方法で、市民のみなさんにお知らせしていきます。



車内吊り広告掲載のようす

生ごみの持出方法が変わります

生ごみ分別においても指定ごみ袋制度を導入し、生ごみ用の指定ごみ袋を使用してください。ごみステーションへの持ち出しをお願いしています。

生ごみ用の指定ごみ袋ってどんな袋?

生ごみ用の指定ごみ袋は、次のような袋です。

色 黄色半透明

形 手提げ型

サイズ 5ℓ、10ℓ、15ℓ

※「豊橋市指定家庭用ごみ袋」「生ごみ」「豊橋市承認番号」などの表記は、販売用パッケージに印刷されます。袋への印字はありません

生ごみ用の指定ごみ袋はどこで販売されるの?

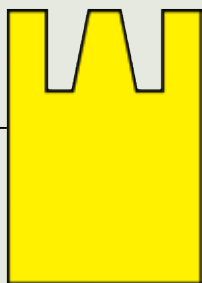
生ごみ用の指定ごみ袋は、もやすごみやかわすごみの指定ごみ袋と同様、市内のスーパーやホームセンター、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどで販売される予定です。販売価格は、市販の袋と同様、各販売店が独自に価格を定める市場価格で販売されます(市は販売価格を定めません)。

生ごみの持出方法



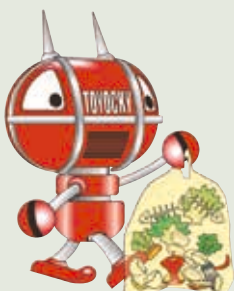
生ごみ

内袋に入れる
水切りネットのまま、内袋または指定ごみ袋に入れることができます
乾いた生ごみは、直接、指定ごみ袋に入れることができます



生ごみ用指定ごみ袋

袋の口をしっかり結んで、ごみステーションに出しましょう!



©豊橋市トヨッキー

生ごみを出すときには、次の点にご注意ください!

- しっかりと水切りをする
- 新聞紙などの紙にくるまない
- たばこの吸殻を入れない
- びんやカンを入れない

